

ーノーベル平和賞受賞報告、そして核兵器のない世界へー

「被団協 ノーベル平和賞受賞記念講演」成功のための協賛金ご協力をお願い

戦後・被爆80年の今年は、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を授賞され国内外で「核兵器のない世界へ」の気運が高まるもとの幕が開けました。

2024年12月10日ノルウェー・オスロでの授賞式で講演した被団協代表委員の田中熙巳さんを札幌にお迎えをの企画を考えました。

その成功のために皆さんに呼びかけます。

被団協は、結成以来一貫して、被爆の実相を訴え、核兵器の廃絶を求めて、国際規模の運動を進めてきました。ノーベル委員会のフリードネス委員長は、「あなた方は決して諦めませんでした。あなた方は抵抗し続ける力の象徴です。あなた方は世界が必要としている光なのです」と被爆者を称えました。

そこで、ノーベル賞受賞の喜びと感動をこの北海道の地で共有したいと考え下記のとおり田中熙巳さんのお話を聞く会を計画しました。

日時 2025年5月24日(土)午後1時開会 午後3時30分閉会

会場 かでるアスビックホール(旧かでる2・7)

あわせて「核兵器と人類は共存できない、させてはならない」との被爆者の声を日本の隅々から全世界に広げ、被爆者の思いを引き継ぎ、核兵器廃絶への希望をさし示す若い世代の取組みも知ってもらおう機会にしたいと考えています。

つきましては、会の成功のために協賛金をお願いをしております。

大変恐縮ですが一口5000円でご協力をお願いいたします。

主催：日本被団協ノーベル平和賞受賞を祝う会実行委員会

問い合わせ たかさき・渡部法律事務所
弁護士 高崎 暢

電話 011-261-7738

FAX 011-261-7718

メール t.law-9@law-takasaki.com

核廃絶の意志受け継ごう



被団協の田中さん
5月に札幌で講演

田中さんはノーベル平和賞を受賞されたばかりで、次世代への核廃絶運動の継承を訴えた。高崎弁護士は「被爆者の代表として講演した田中さんの思いを知り、承継につなげてほしい」と呼びかけている。

5月24日午後1時から、かでる2・7（札幌市中央区北2西7）で開く。参加費は千円。大学生以下は無料。申し込みは不要だが定員は先着約50人。問い合わせは実行委、電話011-261-7738（土曜休）。

（北海道新聞）

(北海道新聞、3月30日付)